

電子証明書の有効性確認方法の設定について

商業登記に基づく電子証明書の有効性確認の方法は、従来は OCSP の方法でしたが、令和8年2月末の法務省のシステム更改により、今後発行される電子証明書は、OCSP と CRL のどちらも利用可能となります。利用する確認方法の切替等については、以下をご確認ください。(既に装備済みの機能の説明になります)

I. 電子証明書の有効性確認方法の設定(OCSP/CRL の優先設定)

<1> 有効性確認の方法について

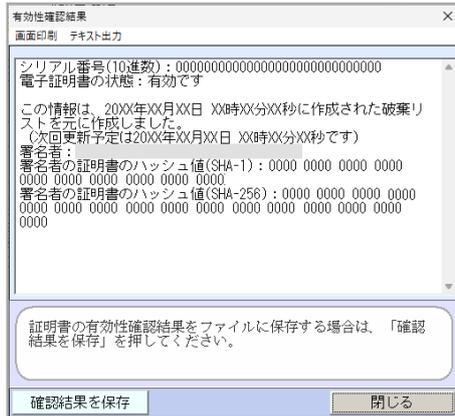
電子証明書の有効性確認方法には、OCSP と CRL の方法があり、電子証明書の種類等によって異なります。

OCSP	特定の証明書の状態をリアルタイムで確認する方法 ・有効性確認の都度、最新の失効情報をリアルタイムで確認 ・特定の証明書について確認するため、CRL に比べて通信量は少ない
CRL	認証局が定期的に発行する失効リストをダウンロードして確認する方法 ・一度ダウンロードしたリストを元に、オフラインでも検証可能 ・失効リストは定期的(例えば1日1回等)に更新されるため、リアルタイム性は低い

(OCSP での有効性確認結果のイメージ)



(CRL での有効性確認結果のイメージ)



<2> 有効性確認方法の優先設定

弊社ソフトウェアの機能で有効性確認する際、CRL と OCSP のどちらも利用可能な電子証明書について、どちらの方法を優先するか、設定できるようになっております。(特に問題ない限り、そのままご利用いただけます。)

設定を変更する場合は、電子認証キットの上部メニュー[設定] - [PKI 設定]から、「有効性確認の検証方法」の設定を切り替えてください。(初期値は「有効性確認時に OCSP を優先する」)

